

【潜在的な観光ニーズに応えるための「千代田区怪談お散歩マップONLINE」プロジェクト】

代表教員：今井秀和（文芸学部）

プロジェクト構成員：谷田貝雅典（文芸学部）
文芸学部・国際学部の学部生・大学院生15名

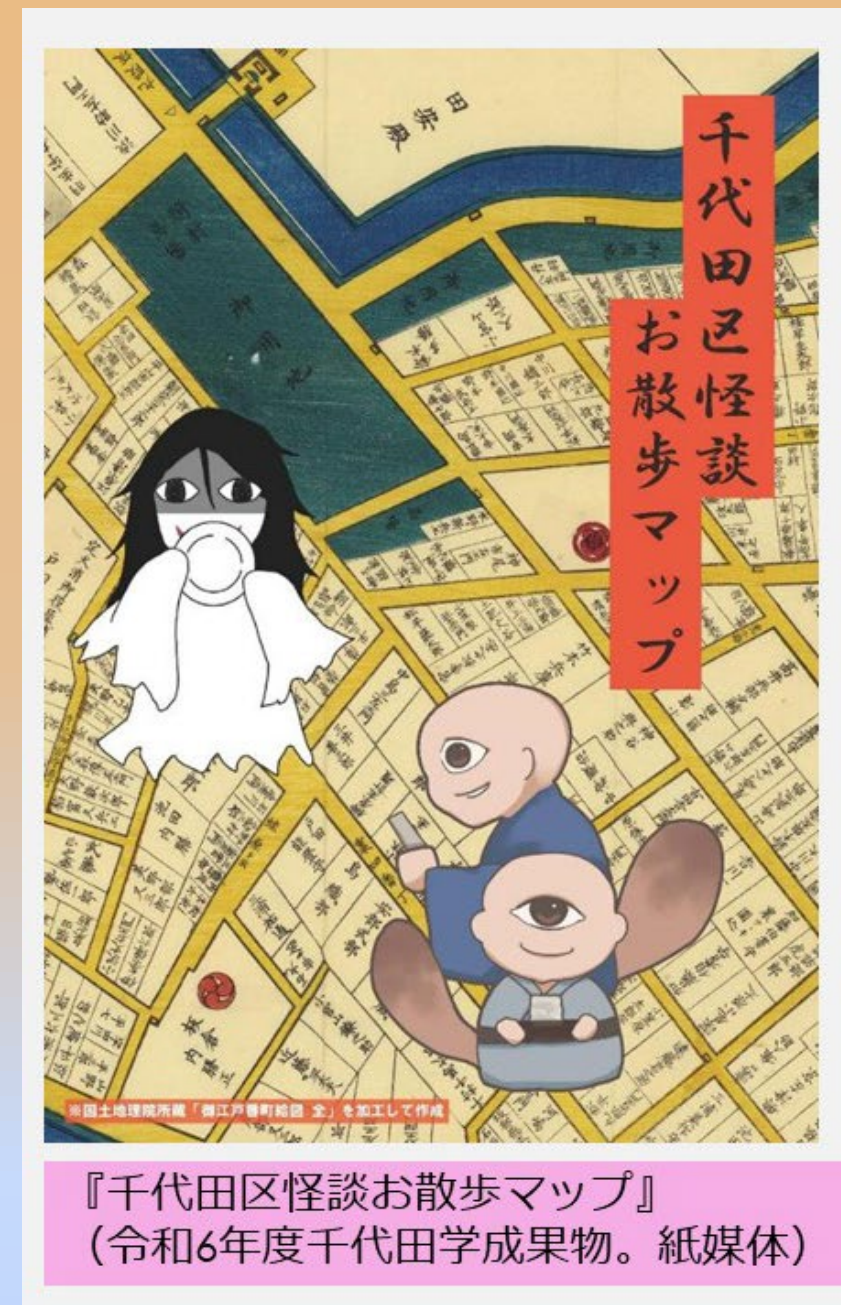
【目的】

千代田区内外における、千代田区を対象とした潜在的な観光ニーズに応えること、また、千代田区に隠された文化的な魅力を広く外部に打ち出すことを目的としている。学生主体の活動であることから、学部を越えた学生、大学院生どうしの協力を促し、また、大学と地域とのコミュニケーションを活性化させることも可能とする。

【内容】

令和6年度（2024年度）「千代田学」の成果として、すでに紙媒体で刊行し、千代田区内外で好評を博している「千代田区怪談お散歩マップ」の後継プロジェクトとして、お散歩マップのデータを大幅にバージョンアップさせ、オンラインでの公開を行う。

また、試験的にAR機能を実装し、マップで紹介した妖怪を描いたイラストの一部と記念写真を撮影できるようになっている。千代田区を代表的する一部の怪談については日本語に加えて英語化も施すなど、オンラインであることを意識した機能の拡充を行った。



- 2025年度（令和7年度）**
前年度の千代田学成果物を元に展開した本プロジェクトの広報活動
- 4月以降、千代田区観光案内所、千代田区内の図書館などで紙マップを配布。（全4,000部。残部僅少）
 - 7月、月刊『ムー』（学研）および「Webムー」に紙マップの紹介記事掲載。
 - 7月～10月にかけて、共立図書館3F 企画展「怪談」とコラボ。POP 展示、紙マップ配布。
 - 8月～10月にかけて、共立図書館4F 企画展「怪談（Kwaidan）—Hear／八雲とフシギな世界—」とコラボ。POP 展示、紙マップ配布。
 - 8月～12月にかけて、千代田区立千代田図書館 企画展「恐い怖い物語」展示協力。大型パネル展示、紙マップ配布。



千代田区立千代田図書館 企画展「恐い怖い物語」展示協力（8月～12月）



千代田区立千代田図書館 企画展「恐い怖い物語」展示協力（8月～12月）



2025年度（令和7年度）「千代田区怪談お散歩マップONLINE」プロジェクトの活動

- コース班**
 - …文献資料の追加調査と現代語訳の粗筋を作成。紙マップに比べて、紹介する「怪談」を大幅に追加。（18例 → 37例）
 - …新たにお散歩コースを設定。（2コース → 10コース）
 - コースの再設定や追加に際して、適時、該当する伝承地周辺の現地調査を行った。



千代田区内に全10コースを設定。



現地調査の活動風景

2025年度（令和7年度）「千代田区怪談お散歩マップONLINE」プロジェクトの活動

- AR班**
 - …個々の怪談ページに挿入するイラストの作成。
 - …ページ内の機能で、妖怪や幽霊とのAR記念写真を撮影できるよう、イラストの一部をAR化。



妖怪と写真が撮れるARカメラ



AR班の活動風景



教室にナマズが出現！？

【結果・成果】

オンライン化により、マップ内容の大幅拡充だけでなく、世界中の人々の自宅からでも、また、携帯端末を持ち歩きながらの現地散策でも、江戸の怪談をテーマとした千代田区の散策マップを利用可能にすることが可能となった。さらに、学生どうしの役割分担や協力体制により、学生個々人の得意分野を活かした活動を展開できた。それぞれの学生が文献調査やフィールドワーク、PCの運用能力など、得意分野に関する知見をもとにした創意工夫を発揮するだけでなく、相互に情報共有をはかることによって、他の学生の能力も底上げされることとなった。



千代田区怪談お散歩マップONLINE